



火災・救急・救助 119

消防瓦版纏

まとい

No.448

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

地震による「電気火災」を防ぎましょう！

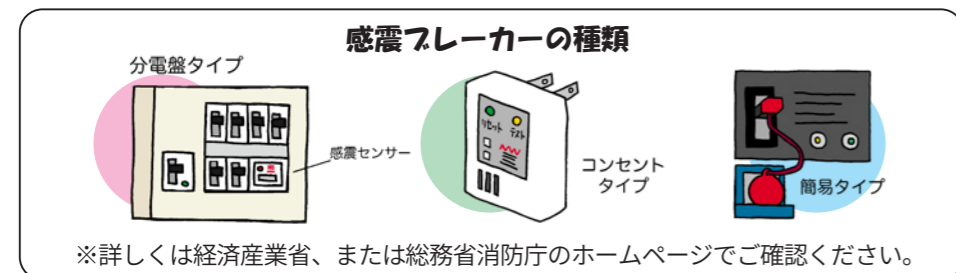
地震による火災の過半数は電気が原因という事実をご存じでしょうか。2011年に発生した東日本大震災では、本震による火災全111件のうち原因が特定されたものが108件で、その過半数が電気関係の出火でした。

地震が原因の電気火災としては、地震の揺れで電気機器が転倒・破損して出火する場合や、停電から復旧して再び通電した際に、損傷した配線や機器に電気が流れて出火する「通電火災」が考えられます。

電気火災の対策には「感震ブレーカー」が効果的です。感震ブレーカーは、地震発生時に規定値以上の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に遮断する器具です。避難時にブレーカーを切る余裕がない場合でも、電気火災を防止する有効な手段になります。また、電気配線等が損傷している場合は通電火災に発展する可能性がありますので、ブレーカーを復旧する前には必ず電気配線などを確認・点検してから復旧させるようにしましょう。



注意!!



※詳しくは経済産業省、または総務省消防庁のホームページでご確認ください。

救急出場状況 (12月分)

交通事故 1件(1人)
一般負傷 10件(10人)
急病 18件(16人)

12月計 29件(27人)
累計 227件(197人)
※()内は傷病者搬送人員



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174



エゾシカ

昨年4月からの駆除数は、季節ごとの増減は例年同様ながら全般に高水準で推移しています。12月末時点の443頭は過去最高で、この後も過去年並みの推移となれば、令和7年度の合計は500頭を超えると予想されます。



ヒグマ

村内では、昨年11月19日を最後に1月21日現在までヒグマの活動情報がなく、安定した冬眠に入っているとみられます。昨冬1月に出現のあったトマムのスキー場も今期はまだ静かです。

ヒグマの出産は冬眠中の1～2月頃とされており、今が産産シーズンです。子グマは体重約400gで生まれ、冬眠穴から出る春頃には約10倍の4～5kgになるとのことです。また、一度の産子数は母グマの栄養状態に左右されるとされ、昨秋はミズナラが凶作でしたので、今年の0歳子はひとりっ子が多いかもしれません。

皆さまお待ちかねのヒグマミーティングは、2月14～15日に開催します。詳細は広報折り込みをご覧ください。



鳥類

かねてより目撃情報のあったコウライキジが、正月早々、中央の千歳地区に姿を見せました(写真)。元来の自然分布域は朝鮮半島で、北海道には1930年代に狩猟資源として放たれました。本州以南の在来種ニホンキジと違い、オスの首に白い模様があります。村内に定着しているのか、関心が持たれます。

北海道内ではこの冬、ハシブトガラスやオオハクチョウで高病原性鳥インフルエンザの発生があり、対応レベル3と高い状況です。村内ではこれまで発生の確認はありませんが、もし身の回りで死因不明の死骸や、衰弱している鳥、異常な行動をしている鳥を見つけたときは、手を触れず、村役場へご連絡ください。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～トマム学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

カリフリ農場・トマムシープファーム見学

11月に前期課程生が、カリフリ農場とトマムシープファームで農場体験を行いました。

カリフリ農場では、経営者の江頭さんからニンジンの育て方や収穫方法について説明を受けた後、実際にニンジンの収穫に挑戦しました。土の中から引き抜く作業は想像以上に力が必要で、農作業の大変さを実感しました。



トマムシープファームでは、広大な敷地で放牧されている羊や牧羊犬と触れ合ったり、毛刈りの様子を間近で見学しました。日常ではなかなか得られない貴重な体験を通して動物への理解と関心を深めるとともに、動物の穏やかな様子に触れ、命の温かさを感じることができました。



チャレンジ発表会

12月上旬にチャレンジ発表会を行いました。体育の部では、4月から継続して練習してきた一輪車と縄跳び、ダンスの発表を行いました。学習発表の部では、生活科や音楽科、総合的な学習の時間で学んだ成果を発表しました。それぞれの学年や児童生徒の個性が光る発表に、保護者や地域の方から大きな拍手が送られました。



コミュニティ・スクール議会

12月中旬に、後期課程生がコミュニティ・スクール議会(CS議会)に参加しました。事前に村議会議員の方々と提案内容について打ち合わせを行い、占冠中学校の生徒とともに議会に臨みました。議会では、「過ごしやすい環境づくり」「村の活性化のために観光業に力を入れる」など、生徒自身が日常生活の中から自分の身の回りや村全体の課題を見つけ、その解決策について考え、堂々と主張しました。生徒たちは、議会という独特な緊張感を体験するとともに、自分の主張が議会で話題に上がる達成感を得ることができました。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

冬山には常に危険が潜んでいる

◆無理のない行動計画と登山計画書の提出

自分の技量に応じた山を選び、不測の事態に備えたゆとりのある日程の登山計画書を作成し、家族や職場等の身近な人に渡しておくほか、最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。

◆万全な冬山装備の準備

冬山登山の装備不備は、最悪の事態を招く恐れがあります。天候の急変にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えた食料、燃料等を用意し、万が一に備えた連絡手段として携帯電話を携帯しましょう。

◆気象情報等の事前確認

入山前には最新の天気予報を確認するとともに、雪崩の危険性についても確認し、慎重に行動しましょう。

◆スキー場の注意事項の遵守

スキー場管理区域外滑走は、滑落や転倒、雪崩、立木への衝突などにより遭難する危険性が高いため、スキー場の注意事項を遵守しましょう。

◆悪天候時は無理をしない

暴風雪や大雪などの視界不良時は、登山の延期や中止にするなど、無理をしないようにしましょう。

